

派遣事業に参加して

大野 錠

一九四五年八月六日、広島に原子ばくだん
が落とされた日です。その事は知識として知
っていましたが、もう七十年以上の昔の話、
自分とは関係ない、三百六十五日の中の一
と言ふ認識でした。今回の派遣事業も、広島
に行けるのなら、やつてみようと言ふ軽い
気持ちでした。

で僕が広島に行島元短大医卒業行
十三年

前の原爆罪等なが火達遠の大量殺りくでした。
式典は、日本人だけではなく、多くの外国人
人が参加していく、ひばく国として日本はと
ても注目されている事におどろきました。こも
にと多くの日本人にもこの事を注目して欲し
いと思いました。

原ばくドームの所に立っていたボランティ
アがイドの人にも話を聞きました。平和記念
公園は、実は大きなお墓であると言ふお話を
してもショッタでした。そして世界中にある

（氣をつかむこと）と
「（ん）や、まる（。）、だんらくに氣をつけて書きましょう。
「いつ」「どこで」「だれが」「何をした」に氣をつけて書きましょう。
話のじゅんじょや、文しようの組み立てをくぶうして書きましょう。

核兵器の数を教えていただきさらにはシヨツクを受けました。そして何より、日本が核禁止条約に賛成していななんて知りませんでした。

ゆい一のひばく国として、もつと多くの人の理解が必要だと感じました。

過去にあつた過ちを忘れない、引き継ぐ世界を平和にするには

、一人一人の協力、優しい心を皆が持つ

の三つの事を心がける事が大切だと思いまし

た。

ひばく者の中には、「原はくを落としたアメリカだけを責めるのはおかしいのではないか。日本も過ちをかかしただろう。」

と考えている人もいます。アメリカの原はくのせいでも、とてもひどい目にあつたのに、そんな考えが出来るのはとてもすごいと思います。お互いか反省し、けんかがこんな考え方出来たら戦争はなくなり、世界平和は実現

(読みかねる)と、「いつ」「どこで」「だれが」「何をした」に気をつけて書きましょう。
語のじゅんじょや、文しようの組み立てをくふうして書きましょう。

すると思 いま す。

今回私はとても軽い気持ちで応募しましたが、とても多くの経験をさせて頂きました。原爆についてだけではなく、台小ではな、他の学校の友達と同じ部屋にとまり、美味しいごはんを食べて、沢山の話をし、色々な出来事にふれ、ここには書ききれな、ほどこの事を考えました。とても有意義な時間でした。私は八月六日を迎える度に思い出せ、家族や友達と話をすると思ひます。

この様な機会をいただき、本当にありがとうございました。

（氣をつけないと）・でん（・や、まる（。）、だんらくに気をつけて書きましょ。」「いつ」「どこの」「だれが」「何をした」に気をつけて書きましょう。
語のじゅんじょや、文しようの組み立てをくわうして書きましょ。